

高齢者虐待 気づきのポイント

担当者している高齢者の、こんな様子に気づくことはありませんか？

これは虐待が行われているサインかもしれません。

サービス事業所のスタッフの方は、日々高齢者ご本人と直接関わる為、以下のような情報を確認しやすい立場にあります。

通報は「虐待かも…」の疑いの段階でOKです。早期発見・早期対応に繋がるよう、以下のような状態を見たり聞いたりしたら、まずは区や包括にご相談下さい。通報者の情報は守ります。

身体的虐待

- ・顔や腕等に傷や腫れ、複数の痣がある。痣や傷ができた理由を聞いても、つじつまが合わない。痣を隠そうとする。
- ・おびえた表情や急に不安がる様子がある。家族のいる場合といない場合で態度が異なる。
- ・「怖い」「怒られる」「家にいたくない」「殴られる」といった発言がある。

ネグレクト

- ・異臭がする、暖房がついていない、いつも同じ服を着ている。汚れのひどい髪やのび放題の爪等、清潔が保たれていない。
- ・家族が受診を拒否する。受診を勧めても行った気配がない。
- ・痩せが目立つ。菓子パンのみの食事

心理的虐待

- ・無気力な表情、投げやりな態度、急な態度の変化等がある。
 - ・話したがらない、自分を否定的に話す、「ホームに入りたい」「死にたい」等の発言がある。
 - ・家族が、高齢者に対して冷淡・横柄・支配的・攻撃的・拒否的な態度をとっている。
- 「早く死んでしまえ」など否定的な発言をしたり、無視をする。

経済的虐待

- ・「お金を盗られた」「年金が入ってこない」「貯金がなくなった」等の発言がある。
- ・資産と日常生活の大きな落差がある。通帳が無い。
- ・サービス利用負担が突然払えなくなる。サービス利用をためらう等。

性的虐待

- ・怯えた表情、怖がる、人目を避けたがる等

ご相談は...

札幌市白石区第2地域包括支援センター

札幌市白石区東札幌3条3丁目7-25 (株)シヴァビル5F

電話：011-837-6800／FAX：011-837-6801

shiroishi2@hsh.or.jp



HSH_CW